

令和4年度

上宮太子高等学校 入学試験問題

# 国語

(50分)

〔注意〕 次の(1)～(5)をよく読むこと。

## 注意事項

- (1) この問題冊子は、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題は、**1**から**3**まであります。印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、挙手して監督者に知らせなさい。
- (3) 解答用紙は、別に1枚あります。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- (4) 受験番号・名前は、問題冊子と解答用紙の両方に記入しなさい。
- (5) 「終了」の合図で、筆記用具を置きなさい。

受験番号				名前

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ロボットというのは、電源スイッチがオフの状態にあつては、置き場所にも困るようなモノにすぎない。ところがスイッチを入れてみると、身体に血が通いはじめたかのように各関節が④イッセイに動きはじめる。冷静に見れば、それはプログラムどおりに動作する、ちよつと複雑なキカイにすぎないのだけれど、その⑤振る舞いに生き物らしさを感じてしまう。くわえて、「オハヨウ！」ということばなどを発するならば、半ばソーシャルな存在を指向するような側面もある。

こうしたロボットと関わる際の新奇さや違和感は、この「モノ」と「他者」とのあいだという微妙なポジションから生じているように思われる。まずは、素朴な道具から高度なキカイへ、A いまだ他者とはなりきれないロボットのいまの姿を見ておきたい。

日々の暮らしのなかで、なにげなく使われる道具の一つにハサミがある。この素朴な道具のおもしろさは、役割や機能を一方的に主張しすぎないことだろうか。そもそもハサミはそこに置かれただけでは、用をなさない。それを使う人の手の中にあつてはじめて、紙を切り刻む、糸を断つなどの役割や機能が立ち現れる。ハサミを使う人も、自分の手の動きとそのハサミとの関わりのみで巧みな技を生み出していく。

その関わりには成熟をも⑥伴う。熟練していく手の動きのみで、ハサミに新たな機能や役割が備わると同時に、それを使う人は巧みに使いこなす者として、そのハサミの働きにより⑦新たな価値が与えられるのだ。

このようにハサミはXでとても素朴な道具でありながら、それを使う人と一緒になって新たな価値を構成しあうような関係を生み出し続ける。とても生成的なものといえるだろう。

その一方で古くからの道具にくわえて、最近では新たな機能を謳うたう情報機器も増えてきた。これらの機器と私た

ちの関わりはどのようなものか。パソコンやスマートフォン、そして銀行にあるATM<sup>\*</sup>など、ボタンやスイッチを押せば、何らかの便利な機能で応えてくれる。たしかに便利なだけけれど、ちよつと物足りないような気がする。少し窮屈な感じもする。

B ATMを利用するときなど、決められた手順に従って⑤シンチョウに操作することが求められる。少しでも誤るなら、すぐにやり直しを求められてしまう。「なんと理不尽な！」と思いつつも、⑥融通の利かない機械の前で、私たちは一方的に指示されるだけのキカイのような存在として構成されてしまう。ATMから叱られるようにして、オドオドしながら操作する姿は、とても痛々しく映ることだろう。

機能や役割が作り込まれすぎると、そのシステムとの関わりは窮屈なものとなりやすい。そこでオリジナルな関係や役割を生み出す余地は少ない。その関係は成熟していくことがない。高機能を謳った情報機器の寿命がそれほど長くなく飽きられやすいのは、そのためだろうと思う。

私たちの生活の中にも入り込みつつある、医療機器や介護ロボットとの関わりはどうだろう。定期健康診断などで胃部のX線検査を行うとき、撮影台に身体を横たえるような状況を考えてみたい。

「◎はい、右にまわってください」、「はい、息を止めて」、「はい、今度は、左にまわって、うつぶせになってください」「はい、もう少し左です」と、撮影台の回転に伴い自分の身体は上下左右へと激しく揺られる。その台からずり落ちないように、両手でしばらく踏ん張ってみる。そうしたときは、「ゲップは我慢してね」と②くぎを刺されていることもあり、声も出せずに指示に一方的に従うだけだ。

「はい、今度は左にまわってください」の指示は、何を意図したものか。丁寧に撮影ポイントを探っているという向きもあるけれど、実際のところは、私たちの身体を揺すりながら、バリウムを胃の中にまんべんなく拡げているだけだったりする。胃袋という名のピーカーを攪拌※かくはんしているようなものだろうか。この撮影台の中で、私たちの身体はシンプルなモノとして構成されてしまう。

③このような事態は、いま医療や介護現場に入り込みつつあるロボットとの関わりにおいて、数多く生じているように思う。おばあちゃんの身体をフワリとクレーンのようなもので持ち上げて、車椅子へと移乗させることを手伝ってくれるロボット。「とても便利なもの！」と思いつつも、おばあちゃんはその何もできずに④神妙にして

いるだけである。あるいは、口元までご飯を運んでくれるロボットのアーム。その関わりでは、ロボットの采配のなかで私たちが生かされている、そんな痛々しい構図を生み出してしまうのだ。

ひとり暮らしの高齢者にとって、日々面倒を見ている犬や猫などのペットや草花は、自分たちの生き甲斐<sup>が</sup>を見出すためにとっても大切なもの。「これをロボットで代替できないだろうか？」というやや⑤せつかちな議論のなかで、ペットタイプのロボットがいくつか開発されてきた。

それはおばあちゃんの心を癒やしてくれるもの、ある人たちにとってはなくてはならないものかもしれない。

「C 簡単に手に入るものなら、おばあちゃんにプレゼントしようかなあ」と思った人も多いことだろう。ただ、おばあちゃんとロボットとの関わりを考えると、「話し相手が必要なら、ロボットに話し相手をしてもらえばいいのではないか？」という気にはなれない。⑥それはどうしてなのか。

小さなロボットの仕草に心のようなものを感じながら、おばあちゃんは優しく語りかける。そこまではいいけれど、その素っ気ない応答や表情のなかに、ロボットのおばあちゃんに対する態度が映し込まれてしまう。

これらの応答は、⑦あるシンプルなプログラムによって作り込まれたものにすぎない。いくつかの状況に合わせて、ことばが選ばれるとしても、おばあちゃんのその時々的心情に配慮したことばはまだ生み出せてはいない。音声認識などがうまくいかずに沈黙してしまうことも多い。おばあちゃんの話しかけに対するロボットの沈黙は、優しい語りかけを無視しているようにも映る。こうしたロボットとの関わりでは、簡単に無視できるような軽い存在として、おばあちゃんを構成してしまうのだ。

それと気になるのは、おばあちゃんが小さなロボットに関わろうとするとき、そこにわずかでもコミュニケーション

ヨンはあるのか、ということである。気持ちを伝えようとしても伝わらない、なにか㊦ソツウした感じがしない。そんな素っ気ないロボットに、なにかを求めて懸命に関わろうとする。そんな姿はとても痛々しいものに映ってしまう。認知症を伴う場合など、不用意にもおぼあちやんの弱い部分を周囲にあらわにしてしまうのだ。

ハサミという素朴な道具から、さまざまな機能を備えた情報機器への進化、そして「もう一人の他者」として期待されるロボットたち。その途上にあつては、㊧未熟で独りよがりな行動がそれと関わる人を受動的な存在へと落とし込んでしまう。あるいは、私たちを思わぬ方向へと構成してしまうことがある。

ここで必ずしもハサミのような素朴な道具のレベルに戻ろうということではない。けれども、ハサミと人の手との関わりのなかにあつたような、相互に新たな価値を構成しあう生成的な関わりを人とロボットとのあいだにも取り戻すことはできないだろうか。

(岡田美智男・松本光太郎「ロボットの悲しみ」)

※ 「ATM」……現金自動預金支払機。

※ 「バリウム」……胃のレントゲン撮影時に用いる白濁の液体。

※ 「攪拌」……かき混ぜること。

問1 傍線部㊸㊹㊺のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 傍線部㊻㊼㊽の品詞名として最も適当なものを、それぞれ次のア～コから一つずつ選んで、記号で答えなさい。(ただし、同じ記号は使ってはならない)

- |   |     |   |     |   |      |   |     |   |    |
|---|-----|---|-----|---|------|---|-----|---|----|
| ア | 動詞  | イ | 形容詞 | ウ | 形容動詞 | エ | 名詞  | オ | 副詞 |
| カ | 連体詞 | キ | 接続詞 | ク | 感動詞  | ケ | 助動詞 | コ | 助詞 |

問3 本文中の A C に入れるのに最も適当な言葉を、それぞれ次のア～オから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ア たとえば      イ もし      ウ けれども      エ そして      オ 決して

問4 傍線部①「新たな価値が与えられる」とありますが、その例を示す写真として 適当でないものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア



イ



ウ



エ



問5 本文中の **X** に入れるのに最も適当な言葉を、次のア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 能動的      イ 受動的      ウ 主体的      エ 革新的      オ 排他的

問6 傍線部②「くぎを刺されている」・④「神妙にしている」・⑤「せっかちな」の意味として最も適当なものを、次のア～エからそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

② 「くぎを刺されている」

ア 相手から前もって確認されている  
イ 相手から厳しく非難されている  
ウ 相手から痛いところを突かれている  
エ 相手から答えを誘導されている

④ 「神妙にしている」

ア 恐怖で体をこわばらせている  
イ 疑問を抱きながらこらえている  
ウ 真剣な表情で構えている  
エ 素直におとなしくしている

⑤ 「せっかちな」

ア 結論が出そうにない  
イ 心に落ち着きがない  
ウ 自分勝手に乱暴な  
エ 実現が不可能な

問7 傍線部③「このような事態」とありますが、どのような事態のことですか。解答用紙の「ㄱ事態。」に続く形で、本文中のこれより後の部分から二十二字で抜き出して答えなさい。

問8 傍線部⑥「それはどうしてなのか」とありますが、その問いかけに対する答えを、「伝わらない」「配慮」「ロボット」の三語を用いて説明しなさい。

問9 本文の内容を読んだ後に、Aさん・B君・C君・Dさんが「ロボット」について話し合いをしました。本文のロボットに関する考え方にあてはまる意見には「○」、あてはまらない意見には「×」を付けなさい。

Aさん「我が家にはお掃除ロボットがあるんだけど、乱暴に扱っているとあまりゴミを吸い取らなくなってしまうの。やっぱりロボットも優しく使ってあげないと働いてくれないんだね。」

B君「僕の家にはドローンがあるよ。最初は操作がすごく難しかったけど、今は操作にも慣れて使いこなせているよ。これならこれから先、使い続けてもずっと飽きることはないと思うな。」

C君「僕は最近、骨折をして外出することができなかったから、大型ロボットAIBOと部屋で遊んだんだ。でも、なぜかAIBOには、親しみを感ぜないんだ。」

Dさん「私は店先に置かれた人型ロボットを見かけたことがあるわ。お手洗いを借りたいと話しかけても無視されちゃって、結局、店員さんが来るまで待たされちゃったわ。」

（問題は次のページに続きます。）

**2** 上宮太子高等学校 2 年 5 組では、総合的な探究の時間に、「地方創生」について学んでいます。次の会話文は、授業中に 1 班 5 人が議論した内容で、後のグラフや表は、先生から全員に配られたものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(まず、「地方創生とは何か」について班で話し合いました。)

A 君 最近、「地方創生」という言葉を聞くけど、どういう意味なのかな？

B さん 「**A**。」という政策よ。確か、二〇一四年の秋に発表されたのよね。

C 君 これって、これからの日本にとって結構重要な問題だよ。少子高齢化の大きな原因が日本各地の人口比率のバランスの悪さにあるから、それを正そうというのが一番の目標だよね。

D さん その目標を達成するために、具体的にいろんな目標が示されたわよね。

E 君 まず、地方の若者の雇用数を増やしたり、若者の正規雇用の割合を増やす事が示されたよね。

A 君 若い世代の女性が地方で結婚・出産・子育てをできるようにという視点もあったよね。

D さん 具体的には、女性の出産後の継続就業のサポートとか、保育環境の整備とかがそれにあたるわね。

B さん 最近よく耳にする「ふるさと納税」もこの政策に関連しているわ。地方自治体が、未来のために使えるお金を手に入れる事も、大切なことだと思う。

問1 生徒たちの話を総合して考えると、Aに入る文として最も適当なものはどれだと思われますか。次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア これ以上都市部の人口が増えないように、地方の良さを日本中でアピールし、将来は大都市圏での一人暮らしの人を減らし、古き良き大家族の生活スタイルを取り戻すことを目指す

イ 人口を増やそうと頑張った地方自治体が報われるように、全国民に納付先を自由にした寄付システムを作ること全国で地方自治体を競わせ、未来への生き残りをかけた競争による活性化を目指す

ウ 人口の偏りをなくすために、地方への税金の投入を大幅に増やし、外資系リゾート施設などの誘致を進めることで、外国とも連携した新しく豊かな日本の形を目指す

エ 人口の減少がこれ以上進まず、地方が若者達にとって魅力的な場所となるように、大都市圏で大きな問題になっている保育園の待機児童問題を解消し、子育てのしやすしい街作りを目指す

オ 人口の減少に歯止めをかけるために、大都市圏への人口の過度の集中を是正し、地域の環境を整備・活性化して、活力ある将来の日本を作る事を目指す

(ここで、先生から資料1、資料2、資料3が生徒たちのタブレットに配信されました。)

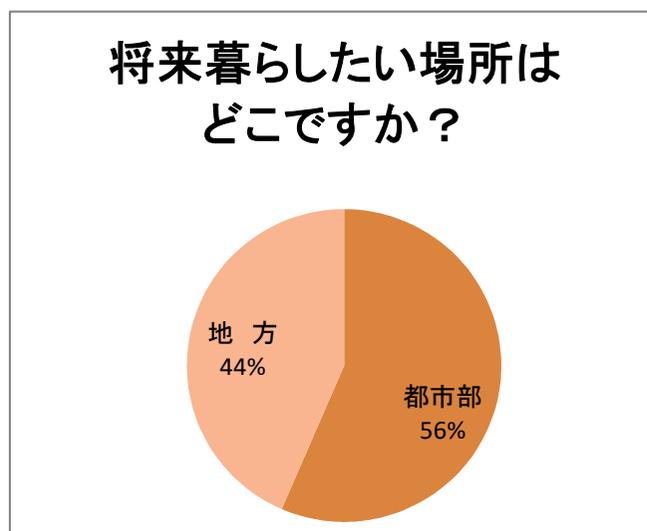
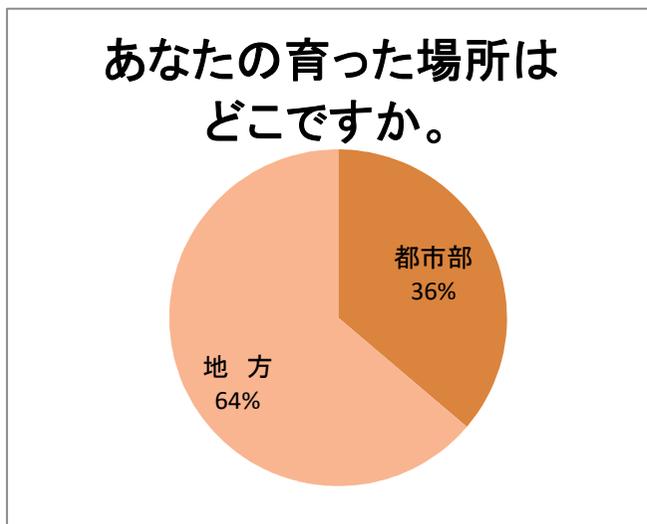
Bさん 「地方創生」については何となく分かってきた気がする。若者はこの問題をどう考えているのかしら。

Dさん 資料1のグラフ1～3を見ると、Bと思われるわ。

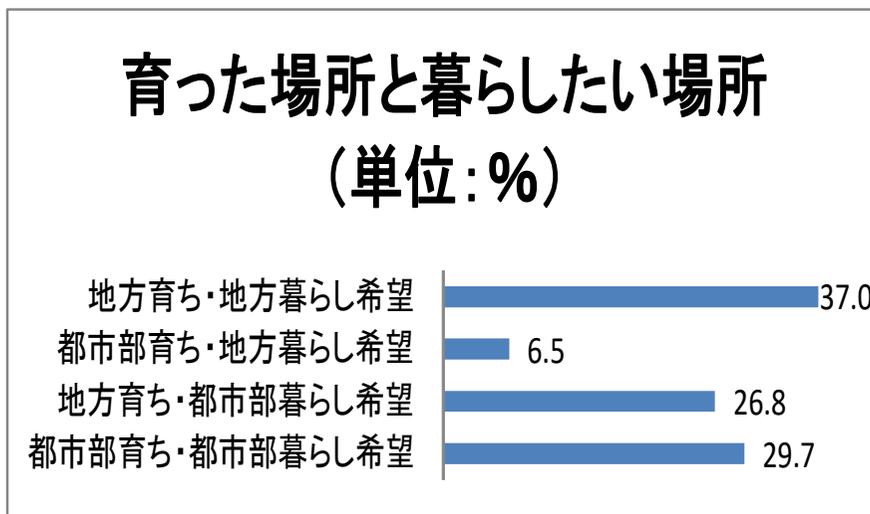
C君 でも、先生からもらった資料2を総合的に判断したら、活動を活性化することでCと思う。

E君 そうだね。こういった地方の取り組みが、若者が意識を変えるきっかけになるといいね。

Bさん このアンケートには、先生からの問題もあるみたい。みんな考えてみましょうよ。



(グラフ1~3 日本財団「18歳意識調査」2020年 より抜粋して作成)



地方創生のための、地方自治体、企業の取り組みの一例

**I 空き家再生プロジェクト（広島県）**

尾道市の傾斜地にある旧市街の空き屋を修復してゲストハウスにしたり、リノベーション（改修）をして再活用する

**II 山形成長戦略プロジェクト（山形県）**

山形県と鶴岡市、慶応大学とが連携してバイオテクノロジー関連企業を集積し、誘致や起業を促進する

山形大学と飯豊町が連携し、世界最先端のリチウムイオン電池の研究拠点を新設

**III 大田原グリーンツーリズム（栃木県）**

大田原市をあげて、民泊や農業体験を推進。国内旅行者で年間6500人、インバウンド（訪日旅行者）で年間1500人を受け入れている

**IV スマート農業実証コンソーシアム（熊本県）**

効率化したスマート農業を導入した棚田での有機農業を実践し、「もうかる農業」を実現することで人を呼び、持続可能な農業につなげる

（日本総合研究所 2020年

地域シンクタンク向け「地方創生・SDGs」に関するアンケート調査結果レポートより抜粋して作成）

質問

(なぜ「大都市への人口集中の是正が進む／進まない」と思うのですか?)

アンケート結果 (抜粋)

- ・テレワークが定着し、オフィスの近くに住む必要性が減ったので【           】。
- ・娯楽を選択できる数や内容が違うので【           】。
- ・生活の利便性が大きく違うので【           】。
- ・現在の感染症への警戒感は一時的なものなので【           】。
- ・ネットショッピングの普及で、どこでも生活しやすくなったので【           】。

※先生からの問題

このアンケート結果の最後の【           】には、「是正が進む」「是正が進まない」のどちらかが入ります。「是正が進む」という意見をすべて取りだして、一文にまとめて答えてみましょう。

問2 生徒たちの話を総合して考えると、   
れますか。 は次の《一群》ア～オから、 に入る文として最も適当なものはどれだと思わ  
れませんか。  
それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

《一群》

- ア これからは地方への人口流出の傾向が始まる
- イ これからは都市部への人口流入の傾向が始まる
- ウ ここ何年かで、都市部に住む人々の意識が変わり始めている
- エ これからも都市部への人口流入の傾向が続く
- オ これからは地方に住む人々は都市部にあこがれ始める

《二群》

- カ 旅行したい人が増え、日本経済が元通りに元気になる
- キ 地方移住や、雇用促進の大きなきっかけになる
- ク 農業好きな若者が増え、都市部にも農業ブームが訪れる
- ケ 若者たちによって、貧困化が解消される可能性がある
- コ 若者たちが、都市がはらんでいる大きな問題に気づく

問3 傍線部「先生からの問題」は、アンケート内にあります。先生の指示通りに、四十字程度で答えなさい。

(さらに、議論は進みます。)

E君 でも、「地方創生」って、すぐにやらなきゃいけないのかな。

A君 それなんだけど、もう一つ、この問題を「消滅可能性都市」の視点から考えてみようよ。

C君 これも切実な問題だよね。「日本創成会議」によると、2040年までに896もの市町村が消滅する恐れがあるらしいよ。特に東北を中心とした5県の自治体は、80%以上がこれにあたるらしい。

Bさん そんなに。予想以上ね。そう考えたら、できるだけ早く動き出さなくちゃ。そうしないと、長い間、日本が大切にしてきたものが失われてしまうわ。仕方がないとあきらめちゃダメよね。

Dさん もちろん、これは「少子高齢化」とも合わせて考えるべき問題だけど、何か動き出さないと、どんどん深刻化するだけよね。まとめとして、「大都市への人口集中」の対応策として、先生が教えて下さった他にも、どんな取り組みがあるのか、みんなのタブレットで調べてみましょう。そして、今までの議論も含めて、班の発表原稿を作りましょう。

問4 2年5組1班のメンバーは、話し合った事をもとにして次ページのような発表原稿を作成しました。原稿の

( ① ) ( ② ) ( ③ ) に入れるのにふさわしい言葉を、後の選択肢ア～コからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(注：発表原稿の空欄 

A
---

C
---

 には問1、問2の解答が、《※》には問3の解答が入りますので、ここで考える必要はありません。)

(選択肢)

カ ア  
美化活動 インフラ整備  
キ イ  
産業振興 ふるさと納税  
ク ウ  
欧米化 福祉事業  
ケ エ  
潤沢な補助金 改革の原動力  
コ オ  
伝統的な文化や産業 コミュニティ再生・観光振興

地方創生について

2年5組1班

1、地方創生とは …  政策。

2、現在の状況 …

↓

※地方自治体や企業が、 ための取り組みを行っている。

なお、資料2の内容を大きく分けてみると、

( ① ) … I III

( ② ) … II IV

の視点での取り組みである。

3、大都市人口集中の是正について

進む可能性 → 《※》

4、消滅可能性都市について

※かなり深刻である。東北を中心とした5県では、80%以上がこの都市に該当している。

※このままでは、( ③ ) が失われる恐れもある。

5、「大都市人口集中」を是正する具体的な取り組み

【 ④ 】

問5

④ 「」には、生徒たちがタブレットを使って色々と調べた取り組みが入ります。この具体的な取り組みにあてはまらないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「地方中核都市」を形成して、そこに若者を集めて大都市への人口流出を食い止める。

イ 生活に必要な主要施設を、小さな地域に密集させるコンパクトシティを作る。

ウ 生まれ故郷や応援したい自治体に寄付をし、金額に応じて地元の名産品をお礼の品として受け取る。

エ ゆるキャラやグルメフェスで地域の魅力を発信したり、移住者受け入れについて手厚い補助を行う。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

或る聖ひじり、船に乗りて近江※の湖をすぎける程に、網船※に大きな鯉をとりて、㉑もて行きけるが、いまだ生きて  
ふためきけるを㉒あはれみて、着たりける小袖※をぬぎて、㉓買ひとりて放ちけり。  
へばたばたしていたのを

②いみじき功德くどくつくりつと思ふ程に、其その夜の夢に、㉔白狩衣※きたる翁おきなひとり、我を尋ねて来たり、㉕いみじ  
う恨みたる気色けしきなるを、あやしくて㉖問ひければ、「我は、昼、網にひかれて命をはらんとしつる鯉なり。聖の  
〈様子〉

御しわざの㉗口惜しく侍れば、其まうの事申さむとてなり」と云ふ。聖云ふやう、「㉘この事こそ心得ね。悦びこそ  
〈申そうと思つて来たのです〉

云はるべきに、あまさへ、恨みらるらむ、いとあたらぬ事なり」と云ふ。翁云はく、「しか侍り。されど、我、  
〈それどころか、お恨みになっているのは、〉

鱗うろこづの身をうけて、得脱※の期ごを知らず。此この湖の底にて、㉙多くの年をつめり。しかるを、またまた賀茂※の供祭くぐい  
〈機会〉

になりて、それを縁として苦患※をまぬかれなんと仕つかまりつるを、さかしき事をし給ひて、又、畜生よじの業を延べ  
〈しまったのを、おせっかいな〉

給へるなり」と云ふとなむ、見たりける。

(「発心集」)

- ※ 「近江」 ……琵琶湖の東岸の地方のこと。現在の滋賀県にあたる。
- ※ 「網船」 ……網を打ったり、引いたりして魚をとる船。
- ※ 「小袖」 ……現在の和服のもととなった袖口の開きがせまい衣服。
- ※ 「狩衣」 ……公家の衣服の一種。平常着として使われた。
- ※ 「得脱」 ……生死の迷いを脱して、さとりを得ること。
- ※ 「賀茂の供祭」 ……賀茂神社の祭りで神に供えられるお供えのこと。
- ※ 「苦患」 ……地獄に落ちて受ける苦しみ。

問1 二重傍線部㉑㉒㉓の主語は誰ですか。最も適当なものを、それぞれ次のア㉔エから一つずつ選んで、記号で答えなさい。(ただし、同じ記号を二度以上用いても良い。)

ア 聖                   イ 漁師                   ウ 翁                   エ 作者

問2 傍線部①「あはれみて」・⑤「口惜しく侍れば」の意味として最も適当なものを、それぞれ次のア㉔エから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 「あはれみて」

- |   |  |
|---|--|
| ア | 活 <small>い</small> きが良 <small>い</small> と思 <small>っ</small> て                  |
| イ | かわ <small>い</small> そう <small>だ</small> と思 <small>っ</small> て                  |
| ウ | お <small>い</small> し <small>そ</small> う <small>だ</small> と思 <small>っ</small> て |
| エ | も <small>っ</small> た <small>い</small> な <small>い</small> と思 <small>っ</small> て |

⑤ 「口惜しく侍れば」

- |   |               |
|---|---------------|
| ア | 大変すばらしかったので   |
| イ | うれしいことでしたので   |
| ウ | すがすがしいことでしたので |
| エ | 残念なことでしたので    |

問3 傍線部②「いみじき功德つくりつ」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを、

次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 漁師が近江の湖で大きな鯉を捕ったことが天の恵みだと思ったこと。

イ 漁師が来ている小袖を売り払って聖を助けようとしたこと。

ウ 聖が弱った鯉を助けるという善い行いをしたということ。

エ 聖の着ていた小袖が高価であったため、買い取ってくれたということ。

問4 傍線部③「白狩衣きたる翁」とありますが、これと同じものを指していると考えられる言葉を、本文中から

抜き出して答えなさい。

問5 傍線部④「いみじう恨みたる気色」とありますが、その理由をわかりやすく説明しなさい。

問6 傍線部⑥「この事こそ心得ね」とありますが、どのようなことが「腑に落ちな」かったのですか。わかりや

すく説明しなさい。

問7 この話は、「魂が生まれ変わりを繰り返す」という意味の四字熟語を連想させる話です。次の□には、

その四字熟語の一部が入ります。最もふさわしい言葉を漢字二字で答えなさい。

輪廻<sup>りんね</sup>